

90分で分かる ビジネスパーソンのための認知科学② 問題解決のしくみ
補足と練習問題

2021/8/13 羽山 博

(C) 2021 Rogue International

(※この資料は再配付しないでください)

◆ 補足

ハナヤマのラッキーパズルはこういうものです→[リンク](#)

ページの中ほどから少し下にあります。私が子供の頃、夢中で問題集をやりました。中にはとても難しいものもありましたが、ついには問題を見ただけでピースの組み合わせが「見える」ようになりました。

◆ 練習問題

(1) 何人かの人に、江戸時代の将軍の平均在任年数を当ててもらおうという問題を出し、回答はコンピュータを使ってやってもらうものとします。正解は17年7か月ですが、「30年ぐらい」と答えさせたいとすると、あなたはどのような風にしてその答えを引き出しますか。もちろん、「30年の近くなんですが」などのあからさまなヒントを与えてはいけません。

(2) サイコロを振ったときに、[1, 1, 1, 1, 1]と出る確率と、[2, 3, 1, 5, 6]と出る確率はどちらが大きいでしょうか。また、その次に1が出る確率はどちらが高いでしょうか。

……とりあえず、勘で答えてみてください。

これについて、多くの人はどう間違えるのでしょうか。それはなぜでしょうか。

(3) コンピュータの操作に慣れた人(熟練者)とあまり慣れていない人(初心者)の操作の特徴にはどのような違いがあると思いますか。自由に考えてみてください。